

アートプロジェクトの0123 (オイッチニーサン) スケジュール

	日付	内容
第1回	6月22日 (木)	イントロダクション
第2回	7月6日 (木)	コンセプチュアルアート1 マルセル・デュシャンを祖とするコンセプチュアルアートの歴史は、現代美術の歴史そのものといっても過言ではありません。 まずはその基本をおさえることから始めましょう。
第3回	7月20日 (木)	コンセプチュアルアート2 ゲスト講師：いちむらみさこ (アーティスト) ブルーシート村や段ボールハウスに寝泊まりし、生活の中で対面した問題やフェミニズムにフォーカスを当てた作品/場を創り出す、現役ホームレスアーティストのいちむらみさこさんをゲストに迎えます。
第4回	8月3日 (木)	映像表現1 現代の美術シーンにおいて、映像表現の多様さを見逃すことはできません。映像表現がこれまで何を問題としどんな実験を重ねてきたのかを詳察します。
第5回	8月24日 (木)	映像表現2 ゲスト講師：小泉明郎 (アーティスト) 独自の語り様式を用いて、演劇的とも評される映像作家の小泉明郎さんをゲストに招き、内奥の感情や記憶をテーマとした映像作品の紹介や、映像というメディアを通してどのように人間の心理を探求するかお話を伺います。
第6回	9月7日 (木)	インスタレーション1 ゲスト講師：山本篤 (アーティスト) 映像を中心にパフォーマンスやインスタレーションを展開する山本篤さんをお招きして、過去作品を見つ、インスタレーションの面白さや可能性についてお話を伺います。
第7回	9月21日 (木)	インスタレーション2 現代のアートプロジェクトで多く登場するインスタレーション。 歴史的にどのような試みが行われたのか、実際に作品を見ながら学んでいきます。
第8回	10月5日 (木)	演劇 ゲスト講師：ベピン結構設計 (演劇集団) 横浜を拠点に色々な地域に向き作品をつくる演劇集団のベピン結構設計をお招きして、家/まち/自然の中など、さまざまな場所で「そこを劇場にする」プロジェクトのお話を伺います。
第9回	10月19日 (木)	作品評論の作法、展覧会で作品の評論を行う1 ゲスト講師：福住廉 (美術評論家) 美術批評家の福住廉さんをゲストに迎え、展覧会、作品についての基本的な文章の書き方や、読む人への伝え方をレクチャーしてもらいます。 次の第10回までに、各自で開催中の展覧会を鑑賞し、感想文を提出します。
第10回	11月2日 (木)	作品評論の作法、展覧会で作品の評論を行う2 ゲスト講師：福住廉 (美術評論家) 展覧会の感想文を事前に提出し、講師の添削を受けます。 添削を受けた文章を例に、良い点や改善点を話し合います。また、添削を受け、次回までに各自リライトし、提出します。
第11回	11月16日 (木)	作品評論の作法、展覧会で作品の評論を行う3 ゲスト講師：福住廉 (美術評論家) 講師に最終確認してもらった文章を受け取り、最終版を受講生同士で読み合うことでお互いの文章を俯瞰して見る練習をします。
第12回	11月もしくは12月で日程調整中	アーティストックディレクターの活動を知る ゲスト講師：港千尋 (NPO法人Art Bridge Institute代表理事) 「群衆」「移動」などをテーマに写真を撮りながら多彩な評論を行うほか、各地で取り組まれているアートプロジェクトや、他分野とアートの連携活動を取り上げた機関誌『ART BRIDGE』の発行のディレクションを行う港千尋さんをお招きしてお話を伺います。
第13回	12月14日 (木)	キュレーター活動を知る ゲスト講師：窪田研二 (インディペンデント・キュレーター) 数々の展覧会や芸術祭にキュレーターとして関わり、多様なアプローチからアートや表現を社会に結びつける活動を行っている窪田研二さんをお招きしてお話を伺います。
第14回	1月11日 (木)	コーディネーターの活動を知る ゲスト講師：Minatomachi Art Table [MAT, Nagoya] 青田真也、野田智子、吉田有里 名古屋の港まちをフィールドにした新しいアートプログラム「Minatomachi Art Table, Nagoya (MAT, Nagoya)」を実施している三名をお招きして、現場のお話を伺います。
第15回	1月26日 (金)	アートディレクターの活動を知る ゲスト講師：相馬千秋 (芸術公社 代表理事) 国内外で多数の演劇関連のプロジェクトのプロデュースやキュレーションを行うほか、アジア各地で審査員、理事、講師等を多数務める相馬千秋さんをお招きして、お話を伺います。
第16回	2月8日 (木)	受講生によるアートプロジェクトの企画発表
第17回	2月22日 (木)	受講生によるアートプロジェクトの企画発表